

### Ⅲ 基本計画



# 1. 施策の体系

まちの将来像

みんな元気で  
いきいき暮らせる  
市民総働のまち  
あんなか

政策大綱／基本目標

1 都市基盤
人にやさしく、 快適に暮らせる 魅力的なまち
2 環境・安全
豊かな自然に包まれ、 安全・安心に暮らせるまち
3 健康・福祉・子育て
いつまでも健やかで いきいきと暮らせるまち
4 教育・文化・交流
生涯を通じて学び、 人を育むまち
5 産業・雇用
地域資源を活かした、 にぎわいと活力のあるまち
6 行財政・市民総働
効率的な行財政運営と、 市民総働のまち

基本施策

1-1	適正な土地利用
1-2	道路交通網の整備
1-3	公共交通の充実
1-4	計画的な市街地の整備
1-5	住環境の整備
1-6	安全で安定した水道水の供給
1-7	適切な汚水処理
1-8	公園・広場の整備
2-1	健全で良好な生活環境の維持
2-2	低炭素・循環型社会の実現
2-3	環境保全活動の促進
2-4	防犯対策の推進
2-5	交通安全対策の推進
2-6	防災・減災対策の推進
2-7	消費者の保護
3-1	疾病予防・健康づくりの推進
3-2	医療体制の充実
3-3	地域福祉の推進
3-4	高齢者福祉の推進
3-5	障がい者福祉の推進
3-6	結婚・出産・子育て環境の充実
3-7	社会保障制度の充実
4-1	生涯学習・社会教育の充実
4-2	小・中学校教育の充実
4-3	生涯スポーツの推進
4-4	芸術・文化の振興
4-5	都市間・国際交流の推進
5-1	農業の振興
5-2	林業の振興・鳥獣被害対策の推進
5-3	商工業の振興
5-4	観光の振興
5-5	雇用対策の推進
6-1	市民総働の推進
6-2	人権教育・啓発の推進
6-3	男女共同参画の推進
6-4	情報発信の充実
6-5	効率的で健全な行財政運営

## 2. 重点目標

まちの将来像の実現に向け、分野の枠組みを超えて総合的かつ横断的に地域の課題解決に取り組むための重点的な目標として以下の5つを設定します。

また、目標の実現に向けた具体的な施策について、分野別の主な基本施策を示し、これらの推進により、前期計画の最終年である平成34(2022)年に達成すべき成果目標をあわせて設定します。

### (1) 重点目標

#### 【重点目標1】 市民の快適な暮らしや生命と財産を守る

道路や公共交通などの都市基盤の総合管理により、生活空間の安全確保を図ります。また、市民総働による防災・減災対策の推進により、災害に強いまちをつくとともに、防犯・交通安全意識の高揚と徹底、消費者トラブルの未然防止を図り、市民の生命と財産を守るまちづくりを進めます。

主な基本施策	1-2 道路交通網の整備	2-6 防災・減災対策の推進
	1-3 公共交通の充実	2-7 消費者の保護



#### 市民会議より

- 5つの信越本線駅、新幹線駅、高速道路ICなど移動に便利な機能を活かしたい。
- 車と公共交通の移動を上手くつなげられる仕組みをつくれればもっと便利になる。
- 危機管理や救急対応が充実していれば、企業誘致や子育て環境のPRにも有利。

#### 市民アンケートより

- 10年後の安中市はこんなまちであってほしい**
  - 3位「災害に強く、犯罪や交通事故が少ない安全・安心のまち」(48.6%)
  - 5位「道路や公共交通、公園などが整備された、機能的な住環境のまち」(42.0%)
- 住みやすい理由**
  - 1位「自然災害の心配が少ない」(75.7%)
- 住みにくい理由**
  - 1位「交通の便が悪い」(74.7%)
- 人口減少に対応したまちづくりのために**
  - 2位「公共施設や道路・公共交通機関の立地や規模の適正化」(53.0%)
- 44施策の重要度・満足度評価**
  - 「バス・鉄道など公共交通の充実」は特に満足度が低く、早期の見直しが必要

#### 意見・要望(自由記述)より


- ・安心して歩ける歩道がもっと整備されるといい。
- ・クルマの運転をしなくなったら、生活の足が確保できるか心配。

## 【重点目標2】 若い世代の移住・定住を進める

結婚から妊娠・出産・育児・教育まで、それぞれの希望をかなえるため、切れ目のない支援の充実を図るとともに、暮らしやすい魅力ある住環境の整備、働く場の確保、雇用環境の充実を図り、人口減少の中にあっても、人を育て、地域の活力の維持を図ります。

主な基本施策	1-5 住環境の整備	4-2 小・中学校教育の充実
	3-2 医療体制の充実	5-5 雇用対策の推進
	3-6 結婚・出産・子育て環境の充実	



 **市民会議より**


安中市の子育て支援は充実している。それが知られていないのが残念。

出産できる医療機関が市内にない。安心して子どもを産める環境が必要。

安中で生まれた子どもたちが住み続けられる・住み続けたいまちをつくりたい。

碓氷病院を中心として、子どもを産み育てられる仕組みができると思う。

住まいの支援や子どもの安全・安心が確保できれば人は住むと思う。

 **市民アンケートより**

**10年後の安中市はこんなまちであってほしい**

4位「安心して子どもを産み・育てられるまち」(47.1%)

**安中市での暮らしの中の不安**

1位「少子化・高齢化」(42.1%)

**結婚・出産・子育てがしやすいまちにするために**

1位「子育てへの経済的支援の充実」(47.6%)  
2位「仕事と子育てが両立しやすい労働環境の整備」(40.2%)

**安中市に移住・定住する人を増やすために**

1位「子育て環境・子どもの教育環境の充実」(57.8%)、3位「市内移住希望者への就業・新規就農の支援の充実」(47.5%)

**人口減少に対応したまちづくりのために**

1位「地域の医療・介護環境の維持と充実」(70.8%)

**地域産業の振興のために※**

1位「農林業の経営安定化や後継者・新規就農者の育成」(35.5%)

**意見・要望(自由記述)より**

- ・住みやすい公営住宅の整備や空き家活用が進むといい。
- ・Uターン就職がしやすく、通勤がしやすいようになるといい。
- ・若者が希望を持って暮らせるまちにしたい。


※ I 総論「5. 市民による評価・意識の状況」に未掲載の設問。2位「観光資源を活かしたまちのブランド力向上」(32.9%)、3位「商店街の環境美化や歩道・駐車場などの整備」(31.0%)

## 【重点目標 3】 生涯にわたる健やかな暮らしを支え合う

住み慣れた地域で生涯にわたって健やかにいきいきと暮らし続けられる健康長寿の地域社会を実現するため、医療や保健・福祉の充実と連携強化を図ります。

主な基本施策	3-1 疾病予防・健康づくりの推進	3-4 高齢者福祉の推進
	3-2 医療体制の充実	3-5 障がい者福祉の推進
	3-3 地域福祉の推進	3-7 社会保障制度の充実




 **市民会議より**

みんなが気軽に集まれ、子どもや高齢者の居場所にもなるサロンが身近にほしい。

経験と知識が豊かな、元気に働く高齢者が地域にはたくさんいる。その活力をまちづくりに活かしたい。生きがいにもなる。

今後は在宅医療、介護サービスの充実が重要であり、まちづくりの観点でも充実を図る必要がある。

 **市民アンケートより**

**10年後の安中市はこんなまちであってほしい**

1位「高齢者や障がい者にやさしく、誰もが地域で暮らし続けられるまち」(50.5%)  
2位「健康づくりが盛んで、必要に応じて適切な医療が受けられるまち」(49.8%)

**住みにくい理由**

3位「医療・福祉が充実していない」(45.2%)

**安中市での暮らしの中での不安**

1位「少子化・高齢化」(42.1%)  
2位「医療」(38.1%)  
3位「介護」(27.2%)

**高齢者が安心して暮らせるまちにするために\***

1位「年金や医療保険制度の充実」(55.8%)  
2位「介護サービス(居宅・施設)の充実」(51.4%)

**安中市に移住・定住する人を増やすために**

2位「医療体制の充実」(55.6%)

**44施策の重要度・満足度評価**

「医療施設や高度・救急医療体制の充実」は特に満足度が低く、重要度が高い。早急な見直しが必要

**意見・要望(自由記述)より**

- ・医療体制を充実させてほしい。安心して医療を受けたい。
- ・他の自治体の医療機関との連携が進むといい。
- ・高齢になっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けたい。


※ I 総論「5. 市民による評価・意識の状況」に未掲載の設問。3位「高齢者が安心して暮らせる住環境の整備」(37.3%)、4位「健康づくりなどによる介護予防や認知症予防の強化」(32.4%)

## 【重点目標 4】 何度も訪れたくなる魅力を磨く

魅力ある観光資源の磨き上げや、それらを体験する機会の整備・拡大、効果的な情報の提供、周辺都市との連携などを図り、本市を知り、関心を持ち、「何度も訪れたい・住みたい」人を増やします。

主な基本施策	4-4 芸術・文化の振興	5-4 観光の振興
	4-5 都市間・国際交流の推進	6-4 情報発信の充実




 **市民会議より**

まずは安中市を知ってもらうことが重要。

地域の魅力を見直し、市民がそれを共有して発信することが重要。  
発信することで魅力的な人がもっと集まる。

これまでにない視点で見ると新たな魅力が見つかる。  
まだ知られていない安中の魅力を引き出したい。

 **市民アンケートより**

**住みにくい理由**  
4位「休日等を楽しめる場が充実していない」(41.4%)

**地域産業の振興のために※**  
2位「地域資源を活かしたまちのブランド力向上」(32.9%)

**安中市に移住・定住する人を増やすために**  
5位「移住・定住につながる安中市での暮らしのPRの推進」(27.9%)

**意見・要望(自由記述)より**

- ・子どもたちがアートに触れられる機会がとてもなく残念。
- ・地域の資源を活かし、もっと観光に力を入れてほしい。
- ・近隣の観光スポットとの連携ができないか。
- ・一日をゆっくり過ごせる公園などがあるといい。
- ・まつりや花火大会の開催をもっとしてほしい。
- ・通り過ぎるだけのまちから、立ち寄って滞在するまちにしたい。

※ I 総論「5. 市民による評価・意識の状況」に未掲載の設問。1位「農林業の経営安定化や後継者・新規就農者の育成」(35.5%)、3位「商店街の環境美化や歩道・駐車場などの整備」(31.0%)

## 【重点目標 5】 地域の資源をつなぎ、活力を創造する

地場産業の振興や、そこで働く人たちのワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現を図り、活力ある産業や地域社会が支えるにぎわいのあるまちづくりを推進します。また、市民団体、企業・事業所等を含むすべての市民と行政の総働による、人と人がつながり、結び合う地域社会づくりを推進します。

主な基本施策	5-1 農業の振興	6-1 市民総働の推進
	5-2 林業の振興・鳥獣被害対策の推進	6-2 人権教育・啓発の推進
	5-3 商工業の振興	6-3 男女共同参画の推進



### 市民会議より

気づいた人が自ら取り組まなければならない時代、ひとりより、みんながつながるネットワークができるといい。

安中市最大の資源は「人」。それをまちづくりに活かしたい。

市民がつながり合い、情報の交換や発信ができる場があるといい。人やモノがつながり合う「なんだか楽しいまち」にしたい。

地域の特性を活かした産業の振興と雇用の創出を進めたい。そのためには新たな視点も必要だと思う。

### 市民アンケートより

**人口減少社会における公共サービスのあり方**

1位「税負担は増やさず、民間活力や市民の力を活用してサービスを維持・充実すべき」(40.8%)

**結婚・出産・子育てがしやすいまちにするために**

2位「仕事と子育てが両立しやすい労働環境の整備」(40.2%)

**安中市のまちづくりへの関心**

1位「どちらかといえば関心がある」(53.0%)

意見・要望(自由記述)より

- ・特産の梅をもっと活かし、料理や加工品が名物になるといい。
- ・地域特性を活かしたブランド力のある産業の創出が必要。
- ・子どもたちが大人になった時、雇用の場があるまちにしたい。
- ・一人ひとりが意識を変え、市民としての自覚と誇りを持てるまちにしたい。
- ・市民が自ら考え、盛り上げ、行動していかなければならない。
- ・一人ひとりがどのようにこれから安中市に関わっていくのが大事。
- ・市民と行政の協働はこれからのまちづくりの基盤となる。
- ・地域みんなが助け合っていけるといい。

## (2) 成果目標

5つの重点目標の実現に向けた施策の推進により、前期計画の最終年である平成34(2022)年に達成すべき成果目標として次の2つを設定します。

<b>目標①</b>	<b>平成34(2022)年に人口5万5千人超の維持</b>
<b>目標②</b>	<b>安中市は『住みやすい』55.9% → 65%*</b>

※市民アンケートにおける「とても住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計値。有効回収数N>2,000の場合を想定。

